

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善について

当院では看護職員の負担の軽減及び処遇の改善のために下記の項目について取組を行っております。

分野	現状	目標
ア 業務量の調整		
	時間外労働がなるべく発生しないよう、業務量の調整を行っている。	時間外労働が発生しないよう、業務量の調整を行う。
イ 看護職員と他職種との業務分担		
薬剤部	看護師から薬剤に関する質問・相談・依頼に対してその都度対応している。	看護師からの薬剤に関する質問・相談・依頼に対してその都度対応する。
	病棟での内服薬の管理を看護師と協働で行っている	病棟での内服薬の管理を看護師と協働で行う
臨床検査技師	翌日の病棟採血管準備は前日に検査技師が作成し、病棟へ運ぶ	継続する
管理栄養士	食事オーダー方法、食事内容の相談、嗜好調査依頼、栄養指導依頼等に対しその都度対応している。管理栄養士は病棟担当を決め相談しやすい体制をとっている。	食事オーダー方法、食事内容お相談、嗜好調査依頼、栄養指導依頼等に対しその都度対応する。
	安全な食事を提供するため食事情報、食事内容の確認を行っている。	安全な食事を提供するため食事情報、食事内容の確認を行う。
診療放射線技師	検査に使用する造影剤の準備、CT・アンギオ・その他は看護師が準備している。	造影剤の準備・管理は放射線技師が行う。
ウ 短時間正規雇用の看護職員の活用		
	短時間正規雇用の看護師職員を各部署に配置している。	短時間正規雇用の看護職員を活用する
エ 多様な勤務形態の導入		
	勤務専従・夜勤専従など、多様な勤務形態を導入している	多様な勤務形態を導入する
オ 妊娠・子育て中・看護中の職員に対する配慮		
	希望する者に、夜勤の減免や休暇の取得、労働時間の短縮等の配慮を行っている。また、状況に応じて部署の配置転換を行っている。	希望する者に、夜勤の減免や休暇の取得、労働時間の短縮等の配慮を行う。状況に応じて部署の配置転換を行う。
カ 夜勤負担の軽減		
	夜勤専従者の募集を常時行い、職員の希望も取り入れている。 月の夜勤を72時間までであることをチェックしている。	職員の希望を取り入れる。 夜勤の勤務時間をチェックする。